被る深さを意識するとスタイリングが引き立つ！

誰も教えてくれないベースボールキャップの被り方

ベースボールキャップを使いこなすための一般論

全身のスタイルが完成した上級者であれば迷う事は無いのだろうが、初材でストリートスナップを撮影する際に最話しています。「ベースボールキャップの被り方がからないという声を耳にする事があり、その時には「キャップには色々なデザインがあるので好きなように被れば良いんじゃない？」と返すようにしているが、確かにベースボールキャップだけでも高く被るか深く被るかでスタイリングの印象は大きく異なるし、前髪を上げてキャップで隠すか、それとも前髪を出すかも悩みそうだ。正直すでも無くキャップはスタイルの入れるアイテムの1つに過ぎず、全体のバランスで思い方も変わるのが当たり前。ただ、キャップの被り方で悩んだ人にしてみれば「それも誰前を言われても困る」と思うに違いない。そこでまコラムでは一般論としてのベースボールキャップの被り方、被り方にまつわる悪話を紹介していこうと思う。

ベースボールキャップが、B-BOY 御用達だった時代も今は昔。現代のストリートシーンでは若い世代だけでなく、"きれいめコーデ"を好む大人もベースボールキャップを活用している。一般的に定番の59FIFTYやのようなクラウンの高いベースボールキャップを深く被ると、タイトの印象と様し出すスタイルにまとめやすく、同じ59FIFTYでも"ロープロファイル"や"レトロクラウン"と呼ばれるクラウンの低いタイプを選く被ると、カジュアル感が高り、コーディネートの幅が広がるとされている。頭のカタチや髪型、合わせるウエアどもスポく印象が変わるものなので、こうした一般論も少しはベースボールキャップ選びの役に立つハズだ。

深いてベースボールキャップを被る時に前髪

キャップの被り方

使いこなすための一般論

そ出すか出さないかについてだが、こちらも一般論では前髪を上げるとキャップスタイルが"きれいめ"になり、前髪を出すと小顔感が演出できると言われている。もちろん原語B-BOYスタイルでも前髪を上げて被るのが正解で、それが"きれいめコーデ"から同わみると聞いてしまうが、ストリートと言われるキャップスタイルの前髪を上げる派が多く、幅広いスタイルに応用しやすいのは間違いなさそうだ。実際に今回取材した男性陣では、45人中43人は前髪を上げて被るスタイルだった。もし前髪を出すのがさないや「悩んでいる」なら、今の時代であれば前髪を上げ、ベースボールキャップに隠すだが無難なのだろう。また、前髪を出す被り方でウエアを選ぶ点からすると"野暮ったくなる"と言う声も聞かれるので、どちらかと言えば、前髪を出す被り方はコーディネートの上級者向けスタイルと言えるかもしれない。

さらに余話として、キャップを前後ろに被るスタイルについても触れておくと、スナップバックやストラップバックのベースボールキャップで言うなら"逆被り"は、海外では"メカニック被り"や"ギャング被り"と呼ばれている。対して国内では"ストリート被り"や"ゴロ寝被り"と、タイや全体にくかい印象が付けられているので、この時代方は気恥ずが発声とされ、現話をよ御に前ネ多く女子のスカートを取く姿をイメージしていると伝えられている。良好的古い時代方と言いきや、つい最近も20代前半の女性も"ストリート被り"と呼ぶ場面に居くわした事いただけやすある。キャップを前後に被るスタイルは、話が明るく見えるInstagram 映えするスタイルが、本誌を手にしたCAP LOVER の皆様には、是非メカニック被り"の呼び方を広げて頂きたい。